

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 ロボット工学コース

(准教授) (氏名)喜多村 拓

取組状況	
教育	<p>①機械設計法 I において、補助教材として機械音声読み上げソフトを使ったビデオを作成し、実際に授業で使用した。しかしながら設計製図 I ではすべての授業の動画作成はできなかった。</p> <p>②コロナ禍によって実習時間が圧迫される中一人のけが人もなく実習を終えることができた。</p> <p>③遠隔授業で使用したスライド資料を基に音声読み上げソフトによる動画化を遂行中である。</p>
研究	<p>随意及び受動ステップング中の上肢皮質脊髄路の興奮性変化に関する論文の執筆 Taku Kitamura, Yohei Masugi, Shin-ichiroh Yamamoto, Toru Ogata, Noritaka Kawashima, Kimitaka Nakazawa, "Modulation of corticospinal excitability related to the forearm muscle during robot-assisted stepping in humans", Experimental Brain Research (2023), 電子掲載: https://link.springer.com/article/10.1007/s00221-023-06565-1</p>
社会貢献	<p>① 昨年度の体験入学会の模擬授業で行ったプロトタイプを基に筋の仕組みや筋電の動作原理など座学パートの比重が多くて実際に筋電を使っておもちゃを動かすという実技パートがかなり圧迫され、改善点として改良を行った。</p> <p>② ①の教材の問題点を洗い出し、どのようなOPC教材にするべきかの検討を行った</p>